

術前休薬など注意が必要な薬剤 ～ホルモン剤～

静脈血栓塞栓症に対する患者のリスクに応じ、休薬を検討する必要があります。

院内採用薬：黄色背景		社会医療法人財団石心会川崎幸病院薬剤部 2022年7月作成			
分類		一般名	先発品名	後発品名	休薬期間の目安
SERM		バゼトキシフェン酢酸塩	ビビアント錠	バゼトキシフェン錠	3日前から、術後完全歩行ができるまで（※1）
		ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ錠	ラロキシフェン塩酸塩錠	
抗癌剤	抗エストロゲン	タモキシフェンクエン酸塩	ノルバデックス錠	タモキシフェン錠	休薬の必要はないが、血栓リスクに応じて休薬（※2）
		トレミフェンクエン酸塩	フェアストン錠	トレミフェン錠	
		フルベストラント	フェソロデックス筋注		
	アロマターゼ阻害薬	アナストロゾール	アリミデックス錠		添付文書の血栓リスクの記載なし 必要なし（※2）
		エキセメスタン	アロマシン錠		
		レトロゾール	フェマーラ錠		
	卵胞ホルモン（エストロゲン）	エストラジオール	エストラーナテープ		休薬の必要はないが、血栓リスクに応じて休薬（※2、3）
			ディビゲル		
			ル・エストロジェル		
			ジュリナ錠		
		エストラジオール吉草酸エステル	プロギノン・デボー筋注		休薬の必要はないが、血栓リスクに応じて休薬（※2、3）
		エストリオール	エストリール膣錠、ホーリンV膣用錠	エストリオール膣錠	必要なし（※2）
			エストリール錠、ホーリン錠	エストリオール錠	手術前4週以内、術後2週以内または長期間安静状態の患者（※2、3）
		結合型エストロゲン	ブレマリン錠		休薬の必要はないが、血栓リスクに応じて休薬（※2）
		エストラムステチンリン酸エステルナトリウム水和物	エストラサイトカプセル		
		エチニルエストラジオール	プロセキソール錠		必要なし（※2）
黄体ホルモン（プロゲステロン）	プロゲステロン		ルティナス膣錠		
			ウトロゲスタン膣用カプセル		
			ワンクリノン膣用ゲル		
			ルテウム膣用坐剤		
			エフメノカプセル		
			プロゲホルモン筋注用		
		ジドロゲステロン	デュファストン錠		添付文書の血栓リスクの記載なし
	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒドロキシプロゲステロンカブロン酸エステル	プロゲデボー筋注	プロゲストンデボー筋注	休薬の必要はないが、血栓リスクに応じて休薬（※2）
		メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒスロン錠、プロベラ錠	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠	
			ヒスロンH錠	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠	
		クロルマジノン酢酸エステル	ルトラール錠		
		ノルエチステロン	ノアルテン錠		
	ジェノゲスト		ディナゲスト錠/OD錠	ジェノゲスト錠/OD錠	添付文書の血栓リスクの記載なし
			ヤーズ配合錠/フレックス配合錠	ドロエチ配合錠	手術前4週以内、術後2週以内または長期間安静状態の患者（※1）
卵胞ホルモン 黄体ホルモン 配合剤	LEP製剤	エチニルエストラジオール・ドロスピレノン	ルナベル配合錠LD/ULD	フリウェル配合錠LD/ULD	
		エチニルエストラジオール・ノルエチステロン	ジェミーナ配合錠		
		エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル			
	中用量ビル	エチニルエストラジオール・ノルゲストレル	プラノバル配合錠		手術前4週以内、術後2週以内または長期間安静状態の患者（※2）
	低用量ビル（薬価未収載）	エチニルエストラジオール・ノルエチステロン	シンフェーズT28錠		手術前4週以内、術後2週以内または長期間安静状態の患者（※1）
		エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル	アンジュ21錠/28錠、トリキュラー	ラベルフィーユ21錠/28錠	
		エチニルエストラジオール・デソゲストレル	マーベロン	ファボワール	必要なし（※2）
		エストラジオール安息香酸エステル・ヒドロキシプロゲステロンカブロン酸エステル	ルテスデボー注		
		エストラジオール・レボノルゲストレル	ウェールナラ配合錠		
		エチニルエストラジオール・酢酸ノルエチステロン	メノイドコンビパッチ		手術前4週以内、術後2週以内または長期間安静状態の患者（※2、3）
緊急避妊薬（薬価未収載）		レボノルゲストレル	ノルレボ錠		添付文書の血栓リスクの記載なし
子宮内黄体ホルモン放出システム（薬価未収載）		レボノルゲストレル	ミレーナ		
排卵誘発薬		シクロフェニル	セキソビット錠		服用期間中の手術は避けることが望ましい（※2）
		クロミフェンクエン酸塩	クロミッド錠		
性腺刺激ホルモン		ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン		HMG注射用/筋注用	必要なし（※2）
		精製下垂体性性腺刺激ホルモン		フォリモンP注、uFSH注用	
		ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ゴナドリン注用/筋注用、HCGt注用	注射用HCG	
		ホリトロピンアルファ	ゴナールエフ皮下注用/皮下注ペン		
		ホリトロピンデルタ	レコベル皮下注ペン		
		コリオゴナドトロピンアルファ	オビドレル皮下注シリンジ		
Gn-RHアゴニスト		ブセレリン酢酸塩	スプレキュア点鼻液	ブセレリン点鼻液	添付文書の血栓リスクの記載なし
		ナファレリン酢酸塩水和物	ナサニール点鼻液	ナファレリン点鼻液	
		ゴセレリン酢酸塩	ゾラデックスデポ/LAデポ		休薬の必要はないが、高用量製剤では血栓リスクに応じて休薬（※2）
		リュープロレリン酢酸塩	リュープリン注射用/注射用キット /SR注射用キット/PRO注射用キット	リュープロレリン酢酸塩注射用/注射用キット	必要なし（※2）
Gn-RHアンタゴニスト		セトロレリクス酢酸塩（薬価未収載）	セトロタイド注射用		
		ガニレリクス酢酸塩	ガニレスト皮下注0.25mgシリンジ		
		レルゴリクス	レルミナ錠		
テストステロン系		ダナゾール	ボンゾール錠		休薬の必要はないが、血栓リスクに応じて休薬 術前又は長期臥床状態の患者には慎重投与（※1、2）
男性・卵胞ホルモン配合剤		テストステロンエナンチオン酸エステル・エストラジオール吉草酸エステル	ブリモジアン・デボー筋注	ダイホルモン・デボー筋注	

※1添付文書・IF参照 ※2メーカー回答を参照
※3添付文書より：術前又は長期臥床状態の患者には注意（血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の危険性が高くなることもあるため）
（参考文献）添付文書、IF、産婦人科診療ガイドライン（婦人科外来編）2020、OC・LEPガイドライン2015、HRTガイドライン2017年度版